



L コマンド

この章では、L で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

log-adjacency-changes (FabricPath)

隣接状態の変化のログ記録を設定するには、**log-adjacency-changes** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log-adjacency-changes

no log-adjacency-changes

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

オン

コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、隣接状態の変化のログ記録を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# log-adjacency-changes
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

lsp-gen-interval (FabricPath)

リンクステート パケット (LSP) 生成の間隔を設定するには、**lsp-gen-interval** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

lsp-gen-interval {*lsp-max-wait* | *lsp-initial-wait* | *lsp-second-wait*}

no lsp-gen-interval {*lsp-max-wait* | *lsp-initial-wait* | *lsp-second-wait*}

構文の説明

<i>lsp-max-wait</i>	生成される LSP の連続した 2 つのオカレンス間の最大間隔 (秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルト値は 8000 です。
<i>lsp-initial-wait</i>	最初の LSP 生成遅延 (秒単位)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルトは 50 です。
<i>lsp-second-wait</i>	最初と 2 番目の LSP 生成の間のホールドタイム (ミリ秒)。指定できる範囲は 50 ~ 120000 です。デフォルトは 50 です。

コマンド デフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- lsp-max-wait : 8000
- lsp-initial-wait : 50
- lsp-second-wait : 50

コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LSP パケットの生成、送信、再送信の速度を制御するには、**lsp-gen-interval** コマンドを入力できません。

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、LSP 生成間隔を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# lsp-gen-interval 9000 60 70
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

lsp-mtu (FabricPath)

Cisco NX-OS ソフトウェアによって生成されるリンクステート パケット (LSP) 最大伝送ユニット (MTU) を設定するには、**lsp-mtu** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

lsp-mtu bytes

no lsp-mtu bytes

構文の説明

bytes 最大 LSP サイズ (バイト単位)。指定できる範囲は 128 ~ 4352 です。

コマンド デフォルト

1492 バイト

コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、最大 LSP サイズを 1500 バイトに設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# lsp-mtu 1500
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。